

経営状況の概要（平成26年度）

1 団体概要

団体名	社会福祉法人郡山市社会福祉事業団	設立年月日	平成2年3月19日
所在地	郡山市朝日一丁目29番9号	設立根拠	社会福祉法第32条
資本金(基本金)等	10,000 千円	市出資(出捐)金	10,000 千円
市所管部課	保健福祉部保健福祉総務課		
事業内容	(1)郡山市が設置した社会福祉施設等(20施設)の管理運営 (2)郡山市からの受託事業(障害者相談支援事業、地域活動支援センター事業、障害者虐待防止センター事業、障害者授産支援事業、長寿社会対策推進事業、いきいきデイクラブ事業、生活援助員派遣事業)の運営 (3)障害福祉サービス事業(グループホーム、短期入所事業)の運営 (4)特定相談支援事業、一般相談支援事業、障害児相談支援事業の運営 (5)障害者地域生活支援事業(日中一時支援事業)の運営		
ウェブサイトアドレス	http://koriyama-fj.sakura.ne.jp/		

2 財務状況

(単位:千円)

	項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度
貸借対照表	総資産	935,249	964,431	968,274
	負債	605,036	640,986	584,241
	(うち有利子負債)	(0)	(0)	(0)
	資本	320,213	323,455	384,032
	累積欠損金	0	0	0
損益計算書	総収入(売上高+営業外収益+特別利益)	1,031,887	1,017,240	1,130,592
	経常収支差額	18,892	△ 34,750	60,601
	当期損益	19,955	△ 6,767	60,587
	減価償却前当期損益	20,767	△ 3,428	67,686

3 役員員の状況

役員数	10人	市からの出向者・退職者	1人	職員数※	46人	市からの出向者・退職者※	0人
役員平均年齢	69.1歳	常勤役員平均年収(千円)※	4,416	職員平均年齢※	50.8歳	職員平均年収(千円)※	6,289
		非常勤役員平均年収(千円)※	720	人件費(千円)	721,135	収入合計人件費率(%)	63.8%

※は報酬を支給する役員分のみ記載

※は正規職員分のみ記載（人件費、収入合計人件費率は全職員対象）

4 団体への市関与の状況

(1)公的支援

(単位:千円)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考(目的、内容、算出根拠等)
① 補助金(助成金)	64,141	13,746	60,042	法人管理費補助金
② 利子補給金	0	0	0	
③ 税の減免額	0	0	0	
④ その他()	0	0	0	
小計	64,141	13,746	60,042	
⑤ 損失補償契約に伴う金利軽減額	0	0	0	
⑥ 出資金、低利貸付等に伴う機会費用	0	0	0	
小計	0	0	0	
合計	64,141	13,746	60,042	
(参考) 委託料(市支出)	410,888	398,780	476,047	福祉センター指定管理料、花かつみ豊心園指定管理料等
(参考) 市への収入依存度(%)	46.0%	40.6%	47.4%	

(2)その他

(単位:千円)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考(目的、内容、算出根拠等)
損失補償契約に係る債務残高	0	0	0	
① (将来負担額)	(0)	(0)	(0)	
(将来負担算入率)	(0)	(0)	(0)	
② 貸付金残高	0	0	0	
③ 出資金	10,000	10,000	10,000	
合計	10,000	10,000	10,000	

5 監査等の結果

※内部監査、外部監査、行政庁検査等

監査等種類	①監事監査	②財務会計指導	③
実施時期	平成27年5月18日	平成26年5月21日、平成26年11月20日	
指摘・意見	適正に運営されている。	適正に運営されている。	
対応状況			

6 経営改善の取組状況及び自己評価

7 市の評価

<p>法人運営については、郡山市長が理事長から退き、民間出身の理事長が就任したことから、従前にも増して民間の長所を意識した組織運営を目指すこととなった。</p> <p>施設運営については、人件費支出を考慮しながらも、各事業に適正な人員を配置し、利用者の要求を満たすサービスを提供することができた。組織全体でQC(品質管理)の手法によるカイゼン活動に取り組み、職員の意識改革を進めることができた。また、設備管理等の業務委託契約に複数年契約を引き続き取り入れ、経費を削減することができた。</p> <p>今後は、指定管理者として安定した運営を行うことはもとより、地域福祉の担い手として公益性と透明性を念頭においた事業の推進に努めたい。</p>	<p>各種事業については適切に実施されており、20施設の運営についても適正な管理が行われた。</p> <p>また、組織としてのQC(品質管理)の手法によるカイゼン活動等による経営努力が見られた。</p> <p>経常収支差額については、対前年比及び対前々年比で増加していることが評価できる。</p> <p>今後においても、より一層の経営改善に取り組むとともに、適切な事業執行に努めていくことを期待する。</p>
---	--